

第3回牛久市社会教育委員会議事概要		日時	平成31年 2月 9日 (土曜日)
件名	平成30年度第3回社会教育委員会議	場所 時間	牛久市中央生涯学習センター 小講座室 10:00~11:55
作成年月日	平成31年 2月 9日 (土曜日)	作成者	生涯学習課： 関 稔
出席者	(出席委員) 須藤京子、上田晃生、種子田孝子、松田元、唯根勉、佐々江健治、田井鉄男、綿引良文 (牛久市) 次長 飯野喜行、生涯学習課長 中野祐則、スポーツ推進課長補佐 飯島章友、 中央図書館長 関達彦 (事務局) 生涯学習課副参事 関稔、主任非常勤職員 佐藤純子 (傍聴者) なし <div style="text-align: right;">(順不同・敬称略)</div>		
議事内容	1) 事業課題の解決に向けて ・生涯学習課の事業課題 ・スポーツ推進課の事業課題 ・中央図書館の事業課題		
会 議 内 容 等			

1. 開会	
2. 挨拶 (飯野次長)	
3. 議事	
1) 事業課題の解決に向けて	・生涯学習課 ・スポーツ推進課 ・中央図書館
【質疑等】	
議 長：「はじめに」と「生涯学習課の課題について」事務局から説明願います。	
事務局：「はじめに」「生涯学習課の課題について」の「提言」を読み上げる。	
議 長：まず提言案の「はじめに」のところでご意見のある方はお願いします。	
委 員：正直でいいと思います。「時間的制約があった。深く掘り下げるのは今後の課題。新たな社会教育委の活動。」を加えるといい。下から5行目「三課」は省略、「図書館」は「中央図書館」に修正。	
議 長：それでは、生涯学習課の課題について、ご意見をお願いします。	
委 員：「おやじの会」だけでなく、他に同じような団体もあるのでは。	
委 員：おやじの会がない学校もある。	
議 長：これは若い世代の掘り起こしという意味であげさせていただきました。他に学校サポーターの方は。	
委 員：学校サポーターは、かなりご高齢になります。この文章では、若い世代の掘り起こしというよりも、おやじの会と学校が連携して何か新しいことを始める意味にもとれます。	
委 員：ただの「連携」ではなく、「見直す」というのを加えれば。	
委 員：PTAも女性が多く男性は少ない。市P連が抱えている課題も把握しないといけない。	
委 員：どの団体も女性が多く男性が少ない。若い男性の意見を吸い上げるのは困難だと思います。	
委 員：「市P連等」よりも「青少年育連団体」に変えたほうが。	
議 長：「青少年育成関連団体」でいいですね。	
委 員：上の文章に記載されている「おやじの会」も削除ですね。	
委 員：男性と現役の若い世代。講座等の情報が伝わっていないとありますが、情報は伝わっていると思います。	

議長：伝わっていないという事ではなくて、情報の伝達方法手段ですね。チラシの書き方講座等で参加者が増えた例もあります。参加に繋がるような呼び掛けをすることが重要。

委員：女性の中に男性が入るのは入りづらい。男性がどうやって入っていったらいいのか。説明ができればいいのですが。今回は提言に盛り込めないとは思いますが。

委員：「魅力を感じ参加しやすい」というように「参加しやすい」と入れればいいのかでは。

議長：男性が参加しやすい仕組み。男性が魅力を感じるプログラム。

委員：一行目「中年世代」は、「現役世代とくに若い男性」のほうが。

委員：働きたくても働けない女性は行事に参加しなければならない。と誤解されるかもしれない。若い男性は働くという前提になっています。とくに2行目の「もともと」という表現。

議長：過度な表現にならないようにしたいと思います。

委員：男性は仕事はやるけど家庭はやらない。

委員：若い世代は仕事もやれば家庭もやる人が増えている。子育てに参加している男性は多いです。

議長：指摘をいただきましたご意見をまとめていきたいと思います。次にスポーツ推進課の課題について。

事務局：スポーツ推進課の課題について、「提言」を読み上げる。

委員：課題は生涯スポーツ、提言は施設が問題となっている。提言ももっと生涯スポーツという視点にしたほうが「ヘルシーボール」は削除したほうがよい。スポーツ推進員とあるのは、「生涯スポーツを推進する委員」とか、具体的に記載してはまずい部分があります。施設の利用者は少なくなっているんですか。

課長補佐：利用者数は若干下がっています。

委員：スポーツ推進員は地域とのつながりがなく、スポーツをやっている人以外には認知されていないのでは。

委員：スポーツ推進員は、さらに次はどうするかという意味では必要。人材を育成する必要がある。

議長：競技スポーツ、生涯スポーツとありますが、全体的な生涯スポーツでとらえればいいのか。

委員：牛久市全体の人口で高齢者が多くなっているの、利用者に高齢者が多くなっているのは自然。

議長：生涯スポーツを推進するリーダーのステップアップが必要。課題は高齢化と施設。広くすそ野を広げ生涯スポーツとしてとらえる。次、中央図書館に移ります。

事務局：中央図書館の課題について、「提言」を読み上げる。

委員：読書離れが問題なのか、図書館が使われてないのが問題なのか。

議長：原因は読書離れであるが、図書館が使われていないということの問題としています。

委員：読書離れ、活字離れ、これって改善できるのかな。もう遅いのかなとも思う。

館長：高校生の読書離れに対して図書館としてできることとしては、図書館の敷居を低くして図書館を利用しただけ、高校生に提供するもの、高校生自身が発信するもの、高校生にとって魅力あるものにする上で、今回の提言の案はたいへん良い提言、ぜひ実現に向けて検討させていただきたい。

委員：図書館を利用している高校生は多い。いつ行ってもいる。図書館は図書館にしかない資料があるということが重要で、そういった資料をそろえていく必要がある。情報が集められればさらに利用が増えるんじゃないかと。もっと本に愛着をもってもらいたい。情報発信はスマホでやっている。

議長：ここでは普段図書館に来ない人がターゲットなので、ご理解ください。

議長：本日のこのご意見をもとにもう一度提言案をまとめて、皆さんに確認していただいて、ご意見を頂いて、私の方でまとめて、私だけではまとめきれないようであれば小委員会でまとめて3月中には提言したいと思います。一旦は議長・副議長・小委員会・事務局に預らせていただきます。よろしいでしょうか。はい。それではそのようにいたします。ご意見ありがとうございました。